

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス柳川教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 柳沢運動プログラムを用いた運動遊び+静かな活動 スポーツ大会を開催している。 柳川市にこども部会がある事。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びで体を動かした後に、静かな時間を組み合わせている。 道具を使って興味をひき、出来たら褒めて強化している。 職員が失敗して、成功が素晴らしいのではなく、挑戦した事が素晴らしいと伝えている。 短く・簡単に行い、「もっとしたい」と思う量を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動療育のスキルアップ研修 職場内のFC研修 大人も楽しく体を動かす。
2	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日・祝日・長期休みは外出や制作や料理など、色々な体験ができるようにイベントを計画している。 季節の行事も取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントはマンネリ化しない様になるだけ新しい所へ行くように探している。外食も食券の所、タッチパネルの所、口頭で注文する所のように、バラエティー豊かに計画を立てている。 観光地が近くなので、季節の行事に地域特色に触れたりもしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他教室との情報交換や合同イベント実施 柳川の他事業所との交流会などにも参加している。(今年度も参加実績あり) 今年度は消防車も教室に来てもらい訓練を行った。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の話を傾聴するようにしている。 褒めて育てるを意識している。 柳川市こども部会への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの保護者が働いてある為、忘れたり・忙しかったりしている。そこを共感して、個々に合うように、細かく連絡をとったり、詳しく伝えたり、相談があれば、時間をかけて対応している。寄り添って一緒に考えていっている。 保護者にも褒めて欲しい所を伝えて、褒めチャンスを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との関係を1人1人作っていく。 ノートに貼っている写真の枚数を増やして、こどもの表情を沢山見せよう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の子どもの自主活動での職員との関わる時間配分が、少なくなる時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動保育士による時間配分や職員の人数の問題 子どもの宿題問題。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の組み方の工夫。 タイマーの使用 こども同士で遊べるよう促していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日・祝日・長期休みはイベント実施の為、運動遊びは実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントに時間をさく為、運動遊びは出来ない。 イベントの中で、自転車やボルダリングなど身体を動かせる場所を探しているが、少ない。参加料も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 他教室を参考にし、情報共有して面白い制作物、今後に役立つ料理など教えてもらう。 参加費が負担にならない様に、意識して計画していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 中学生以上の子どもの利用が少ない為、人数の多い小学低学年向けの対応である。(作業的な活動や中学生同士の交流が難しい) 	<ul style="list-style-type: none"> 個々には学年対応をしているが、集団活動となると人数の多い小学生に合わせる事となる。 職員が保育士が多く、年齢の高い子への活動になれていない。課題も見つけにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年の多い教室との交流会 職場内のFC研修